

特集

健康を 検診は

私は南国市衛生委員を委嘱されて十八年余りの間に、多くの話を聞いてきました。「もう少し、もう少しだけ早くかったら」「早期発見したので大丈夫」など。

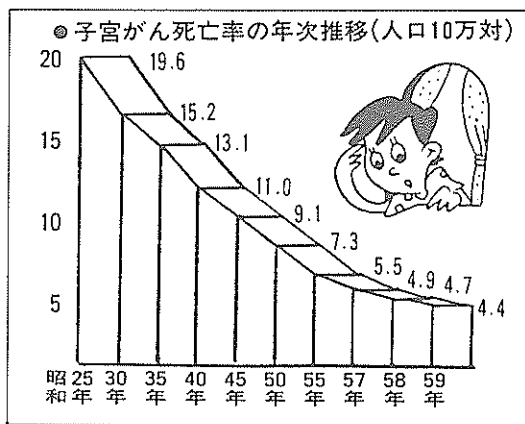
私たち衛生委員は少しでも皆さんの健康な生活のお手伝いのできたらと、それぞれの地区や部落で、各種の成人病やがん、乳がん、子宮がん検診の受診者を勧誘して回っています。最近では理解者も

健康は検診から

門田理博

(市衛生委員連合会 副会長)

増え、受診者の数もうなぎ登りに増えてきました。でも子宮がんだけは、「奥さん、子宮がんの検診を受けませんか」と呼びかけても、大多数の人が、「恥ずかしいから」おおよそ五千人が亡くなっています。まだまだ女性にとつて油断の隙がないがなのです。



子宮がんによる死亡数は年々減少していますが、それは早期発見技術の進歩や治療法の発達のためと考えられます。「早期発見」それはどのがんにも重要なことです。ほとんど症状のない初期にがんを発見するにはまず検診。死亡数は年々減少しているといつても毎年おおよそ五千人が亡くなっています。まだまだ女性にとつて油断の隙がないがなのです。



中心に回転していますから健康な女房抜き生活は考えられないからです。きつとあなたの御主人も同じなわけではないでしょうか。

健康診断の方法はもう一つあります。献血です。休むことなく流れる血液、それはあなたの健康状態を如実に表わしています。現在献血をすると、八項目にわたる血液検査がしてくれます。近くエイズの抗体検査も加わるようです。集団検診で病気を早期発見し、献血で血液検査をする、これで十分というわけではありませんが、皆さんの健康生活の一助にでもなればと頑張っています。

健康クイズ



- ヒントは広報に出ています。
- 問題・四十歳からの健康週間
- は○月○日・○月○日です。
- 締め切り・十月十五日(消印有効)
- あて先・〒783 南国市大浦甲三〇一 南国市役所内環境保健課係
- 答えのハガキには必ず、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。
- 賞品・正解者の中から抽選で五人にヘルスメーターを進呈。

考える○○○(1) あなたの命を守ります

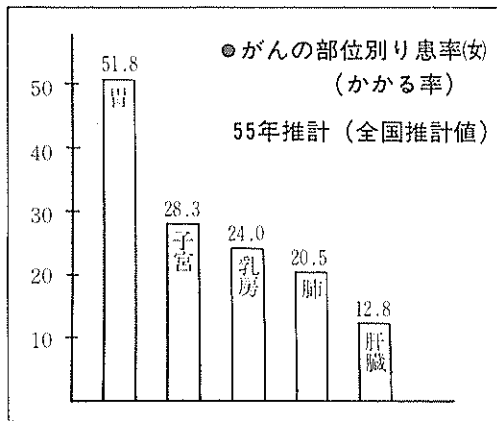
40歳記念検診を受けて

黒岩照子

(上倉地区・会社員、41歳)

私が検診を受けたのは、市役所からのがきがきつかけでした。職場で行われた四十歳以上の成人病検診に十日ほど日数が満たないので、自己負担で受けなければいけないと知らされてやめたのをちよつと残念に思っていたところへ、市役所から三十歳、四十歳誕生日検診の案内をもらったのです。日曜日で仕事は休みだったので、個人あてで無料というはがきに、行ってみようと思いました。

循環器や胃がん、乳がん、子宮がんなどの成人病の検診で、多



がんと検診

山本和人
(南国産婦人科院長)



自分の健康は自分で守る——これが基本だと思います。

罹患すれば不治の病と怖がられたがんと、最近の目ざましい医学の進歩に伴い、年々その死亡率は低下しています。しかし生命を直撃脅かす怖い病気であることには違いありません。

近年開発が進んでいる抗がん剤による薬物療法や放射線療法は、まだまだ補助的な治療法の域を出ていません。現段階で有効な治療法はやはり手術という事になります。しかし、それも周回組織へ広がったり、所属リン

ばしていたらと思うにつけ、本当に受けてよかったと感謝しています。

私が退院して二ヵ月後、父も同じ病院で肺がんと分かりました。手遅れで手術もできず、丸山ワクチンも気休めにすぎず、四ヵ月ほどで逝ってしまいました。肉親ががんと分かたるとき、初期なら治るとしても、末期となると、家族は肉体的にも精神的にも、また金銭的にも苦闘の日々を送らなければなりません。

検診を受けるのは恥ずかしいとか、忙しかつていられないと思います。自分のため、家族や子供のため、本当に検診を受けてよかったと思っています。

バ腺へ転移したりしてからは治療率はぐんと低くなります。遠隔臓器への転移ということになると、まず治らないでしょう。

したがって、がんを初期の状態で見つけることが最高の治療につながるわけです。子宮がんの場合、初期の状態で見れば手術で済むと云っていいでしょう。自覚症状があらわにならないので、そこで「早期発見、早期治療」のために、がん検診が必要になってくるわけです。それも定期的に、少なくとも毎年一回、同じ頃に(昨年が十月であれば今年もその頃)受診することが望ましいのです。